佐藤農園

農業ビジネスについて

2013年10月17日

代表　佐藤　優一

代表　プロフィール

1. 氏　　名：佐藤　優一
　　（サトウ　ユウイチ）
2. 生年月日：1966年1月18日
3. 出身校：駿台甲府高校
　　東京理科大学 理学部 数学科
4. 資　　格：高校数学教員免許
5. 職務経歴
　株式会社岡三経済研究所（岡三証券）
　ブリヂストンタイヤ山梨販売株式会社
　株式会社日本コンサルタント協会　マネジメントコンサルタント
　株式会社アドテックス　管理本部長代行
　株式会社ビーエスピー　支援部長（総務部長）

佐藤農園　代表　佐藤優一

講義内容

Ⅰ農業について

Ⅱ農業の6次産業化

Ⅲ佐藤農園の6次産業化

Ⅰ 農業について

なぜ“農業”なのか

日本の農業ってもう終わりじゃないの・・・？

今、農業に就職したいとは思わないな・・・

辛そうだし収入も少なそう・・・

でも食べ物なくなったら困るよね

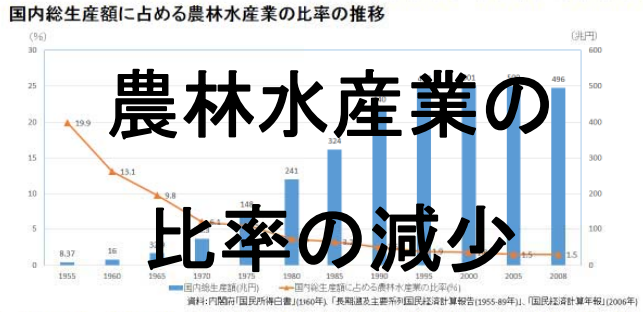
何とかしないと私たちの将来がマズイ！

日本の根幹を支える農業を何とかしたい！

農業を活性化させるために私たちができることって何だろう？

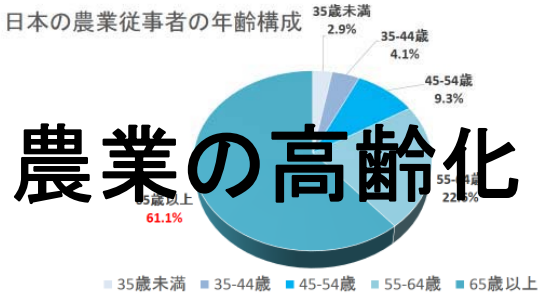
現状分析

日本の農業が抱える諸問題とは？



農林水産業の

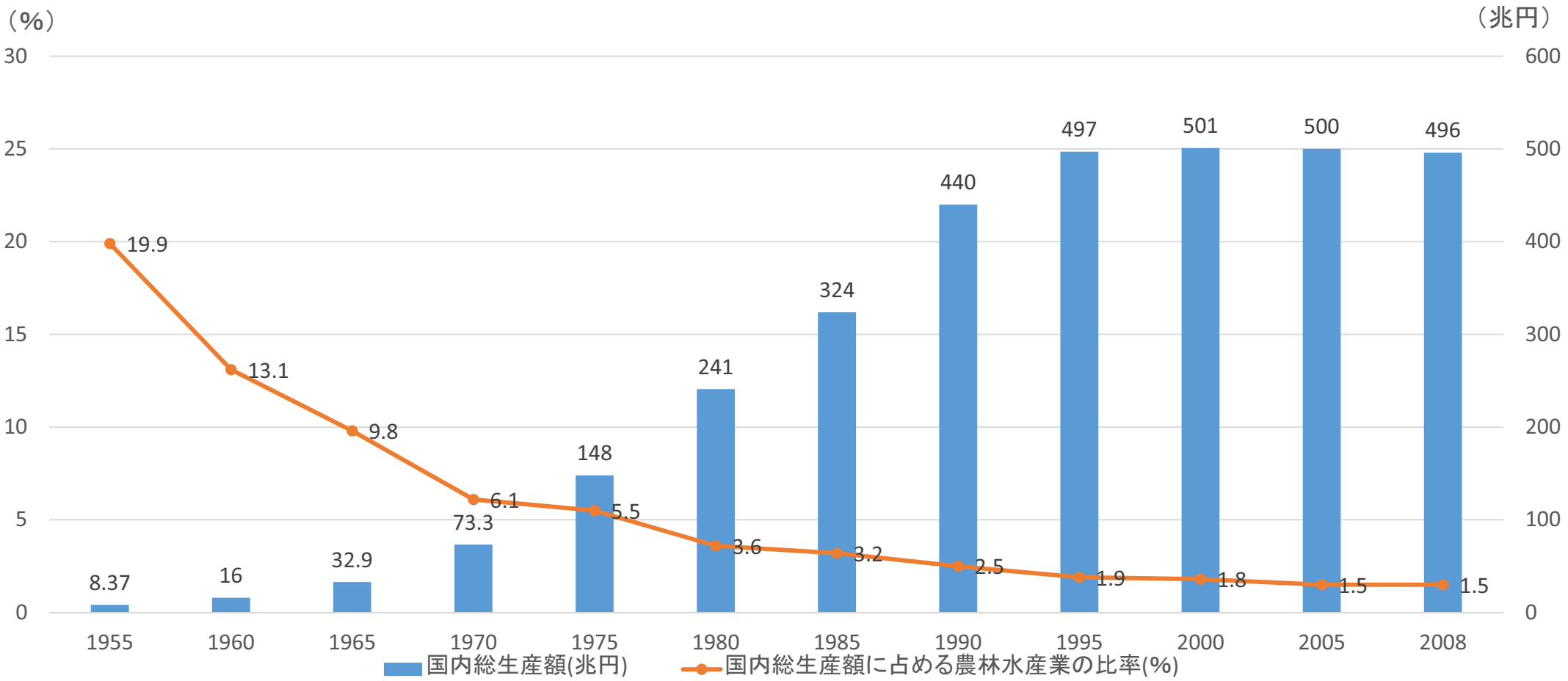
比率の減少



農業の高齢化

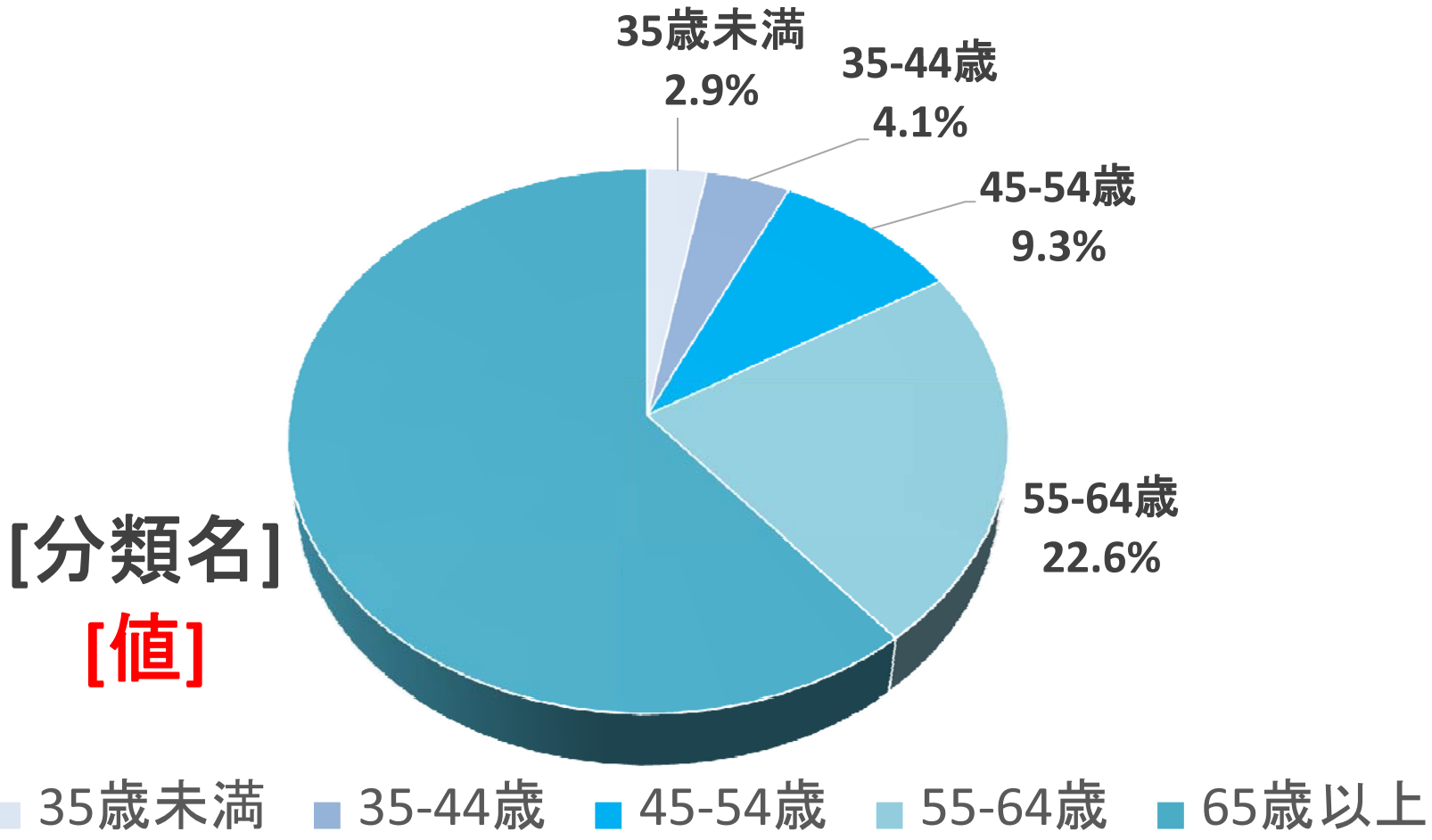
耕作放棄地の増加

①国内総生産額に占める農林水産業の比率の推移

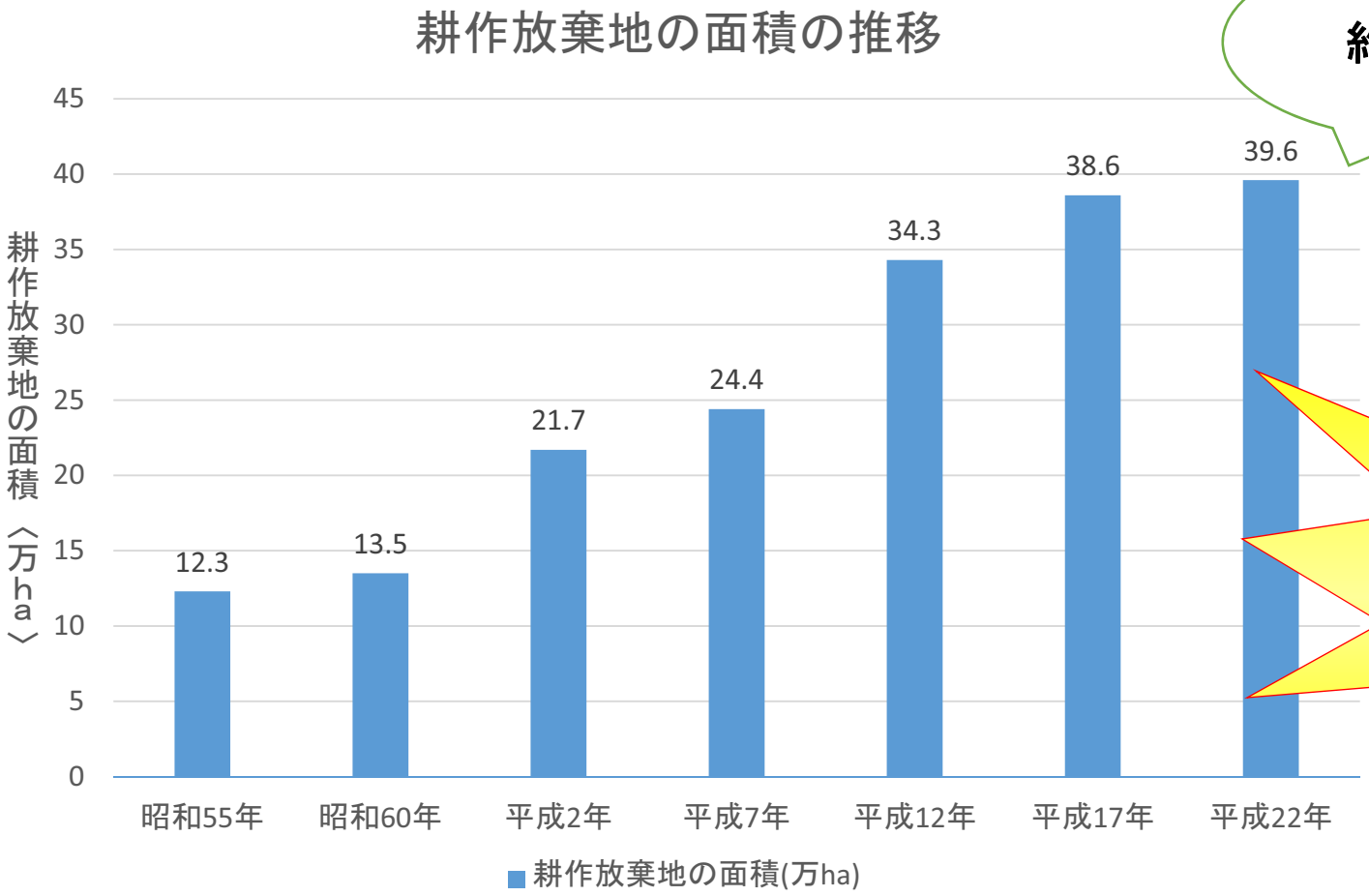


資料：内閣府「国民所得白書」(1960年)、「長期遡及主要系列国民経済計算報告(1955-89年)」、「国民経済計算年報」(2006年

②日本の農業従事者の年齢構成



③耕作放棄地の面積



約40万ha

滋賀県と
ほぼ同じ面積

資料：農林水産省「農林業センサス」

問題意識

このような諸問題の根本的原因とは？

制度上の問題や意識の問題などにより
①生産者が生産拡大の意欲を失っていること
②新規参入者がなかなか現れないこと

解決策

この問題を解決するには？

農業を成長産業にする！

官主導型
(農業行政)

民主導型
(生産者)

農業ビジネス5つの成長戦略

市場ニーズ

- 低コストで安全な食品
- お取り寄せ高級贈答品
- 着地型観光
- 商品差異化

①大規模化

②6次産業化

③高付加価値化

④B級品の活用

⑤輸出

Ⅱ 農業の6次産業化

産業とは

1次産業

農業　林業　漁業　鉱業が当て嵌まる。水産加工のように天然資源を元に加工して食品を製造する業種は製造業に分類。

2次産業

第1次産業が採取・生産した原材料を加工する。日本では製造業　建設業　電気・ガス業　工業が当て嵌まる。

3次産業

1次2次に当て嵌まらないものが該当する。無形財の小売業とサービス業が当て嵌まる。この産業は商品やサービスを分配することで富を創造することに特色がある。

『農業の6次産業化』とは

農業という事に視点をおいて

１次産業（農業）
２次産業（食品加工）
３次産業（流通・販売）

総合機能的にすべてを取りこんだ産業

農業者がすべての産業に関わることによって、加工賃や流通マージン（販売額と売上額の差額）などの今まで第二次・第三次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得ることによって農業を活性化させようというもの

1次産業 × 2次産業 × 3次産業　＝6次産業

6次産業の概念図

1次産業
農産物を生産する

×

2次産業
農産物を加工する

×

3次産業
農産物や加工製品を流通する

＝

1×2×3＝
6次産業

農産物の流通における3つの基本形態

①農協(JA)出荷型

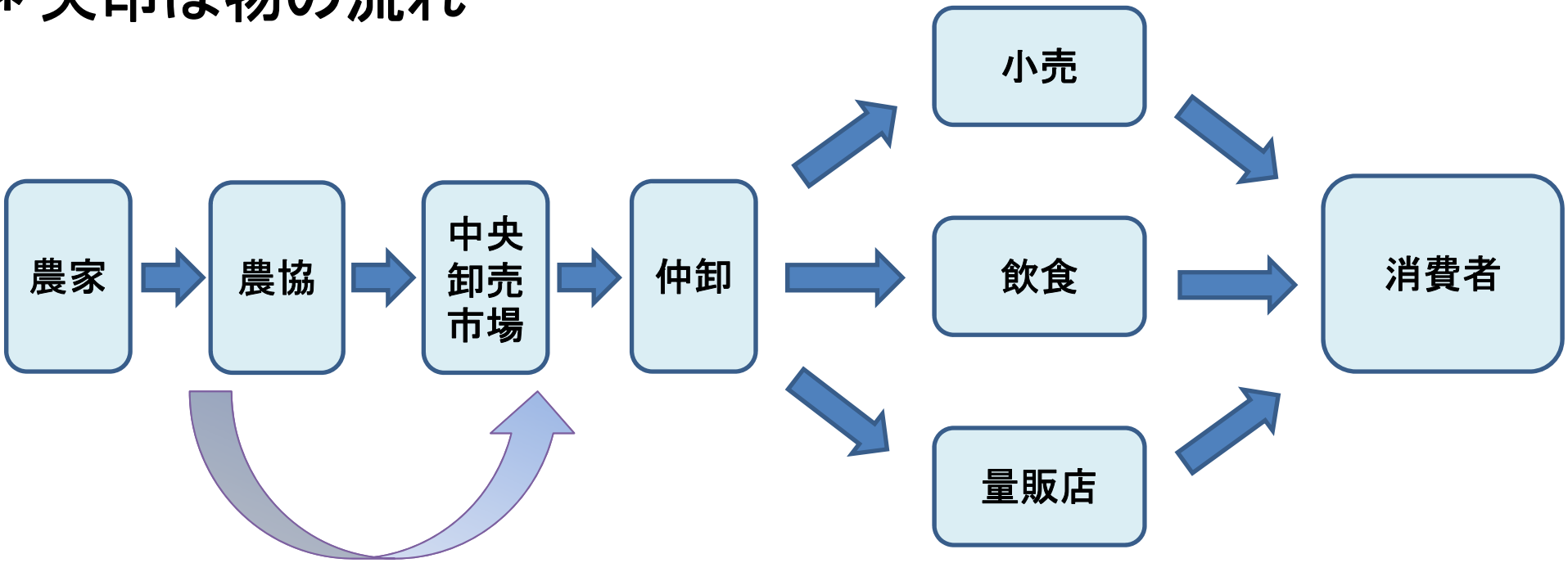
②契約農家・産地直販型

③6次産業型

①農協（JA）出荷型

農家が農協か中央卸売市場に農産物を持っていき流通を委託する

＊矢印は物の流れ



農協出荷型のメリットとデメリット

メリット

・農協と中央卸売市場は全国に展開しているため、
出荷に手間が掛からない
(中央卸売市場は全国に90ヶ所)

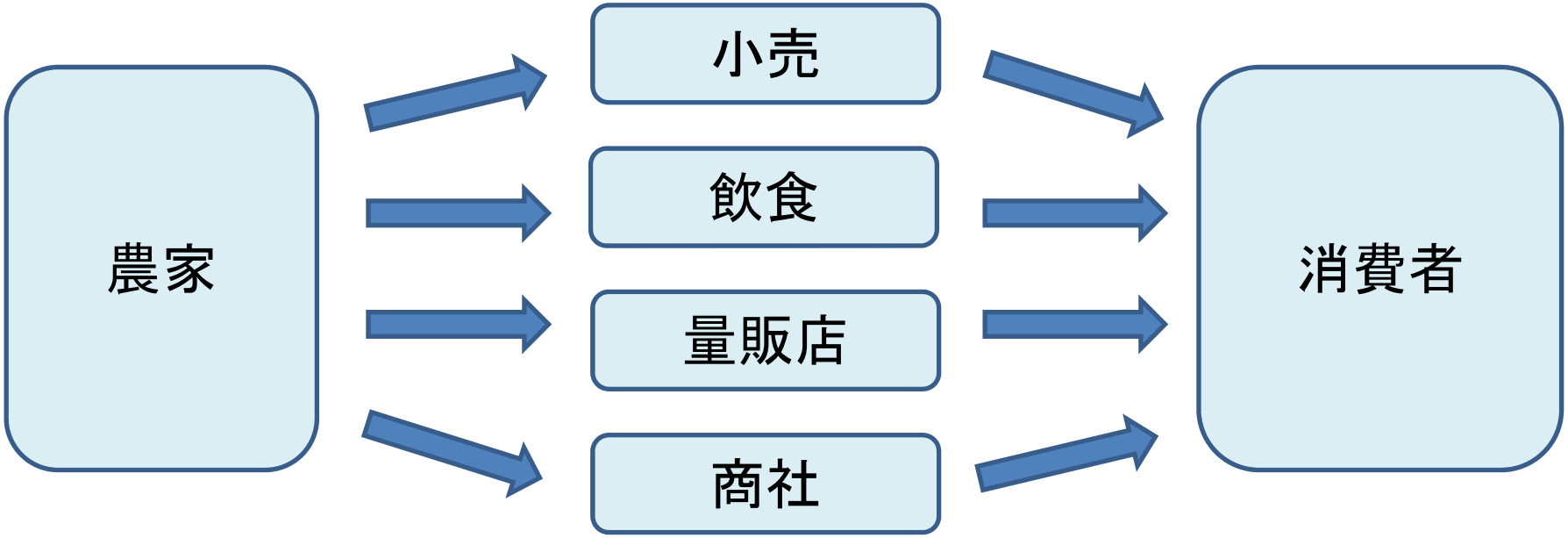
・市場で集荷出荷データを集計しているため、
需要に対して安定した供給が出来る

デメリット

・生産物は機械で選果され、等級分けされている
そのため、価格が統一され、利益が少ない

②契約農家・産地直販型

企業が直接農家と契約し、農産物のルートを作り出す



契約農家・産地直販型のメリットとデメリット

メリット

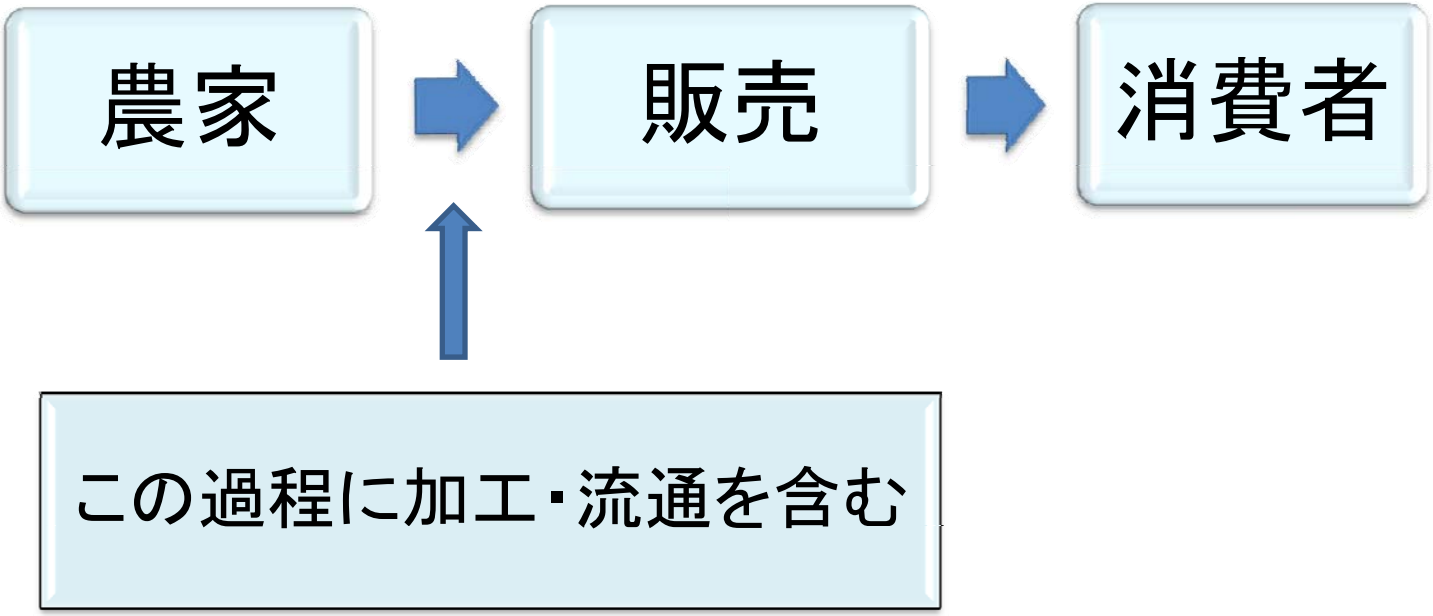
確実な出荷ルートによる安定した収入

デメリット

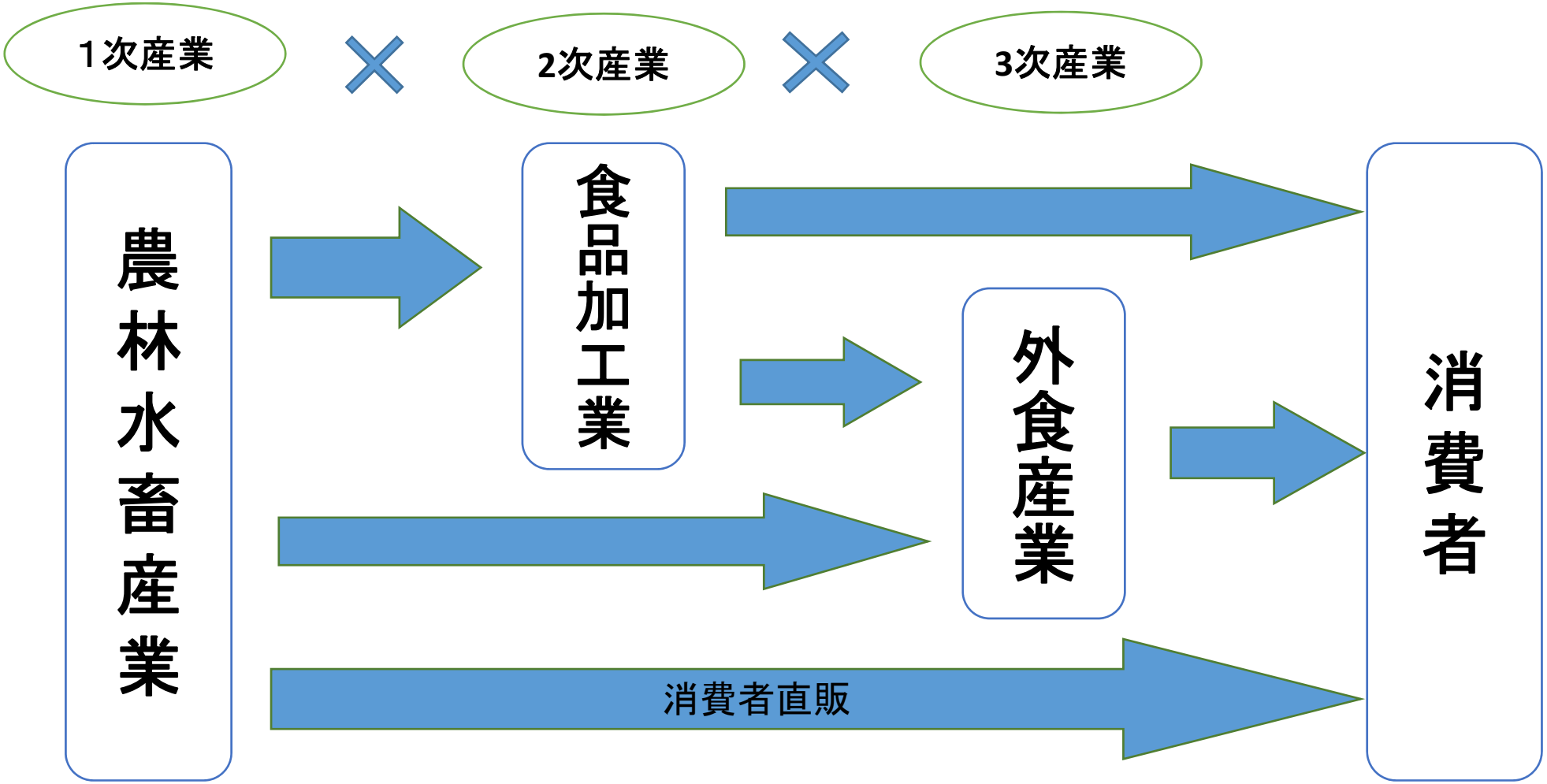
・企業が提示した品質ノルマと数量の確保
（企業によっては高い技術が求められる）

③6次産業型

生産・加工・流通・販売の全てを自身が行うこと



6次産業の流通のしくみ



6次産業型のメリットとデメリット

メリット

自身の期待値通りの値段がつけれる

製造流通委託をしなくても良いので経費を抑えられる

独自のブランド形成　ルート開拓が可能となる

エンドユーザー（消費者）の声が直に聞ける

デメリット

全ての工程を自身が行うため負担が大きい

ルートが確立するまでは安定的では無い

Ⅲ 佐藤農園の6次産業化

佐藤農園概要

代表：佐藤優一

住所：〒405-0002　山梨県山梨市東818番地

連絡先：携帯　090-1997-8357　FAX　0553-22-5868

メール　yuichi@satohfarm.com

webサイト：http://www.satohfarm.com/

http://www.facebook/satohfarm

農産物：モモ・ブドウ・キウイ

樹園地：モモ41a・ブドウ31a・キウイ20a

取引先：銀座農園、東京八王子青果、東夢ワイナリー

弁護士赤井文彌　税理士大村研二

航空写真　2000年6月撮影

佐藤農園の特徴

１．農業教育

年間150人以上のインターンシップ生の受入

２．農業の6次産業化

生産（モモ・ブドウ・キウイ）、加工（ワイン・ジャム）、
販売（有楽町東京交通会館）

３．外国人観光客

台湾人、フィリピン人、タイ人、中国人

４．太陽光発電

モモ

ブドウ

キウイ

佐藤農園の6次産業

1. 高額品・贈答品
   宅配便、プレミアムジャムシリーズ化、プレミアムワイン
2. イベントへの出店強化
   信玄公祭り、甲斐の国マルシェ、巨峰マラソン、ポールラッシュ祭
3. チャネルの多様化
   直接販売：有楽町東京交通会館
   通信販売：Amazon
4. 農業教育
   博士インターンシップ、修士インターンシップ、大学生インターンシップ、
   高専生インターンシップ、高校生インターンシップ、
   外国人インターンシップ、農業体験（小中学生対象）
5. 優良品種への転換
   モモ⇒黄美娘、ブドウ⇒ピオーネ、キウイ⇒レインボーレッド

６次産業化が目指す商品開発の考え方

▶大企業がやらないことをやる

小さな市場を狙う
ニーズのない所へ売る商品をつくる
限定品、入手困難な原料を使う
採算は度外視する

▶大企業ではできないことをやる

失敗を恐れない
自社の既存品を否定する
従来の常識に逆らう
大胆な発想をする

佐藤農園が特に推しているもの

山梨県の幻の黄色い桃『黄美娘』

山梨県で生まれた突然変異種

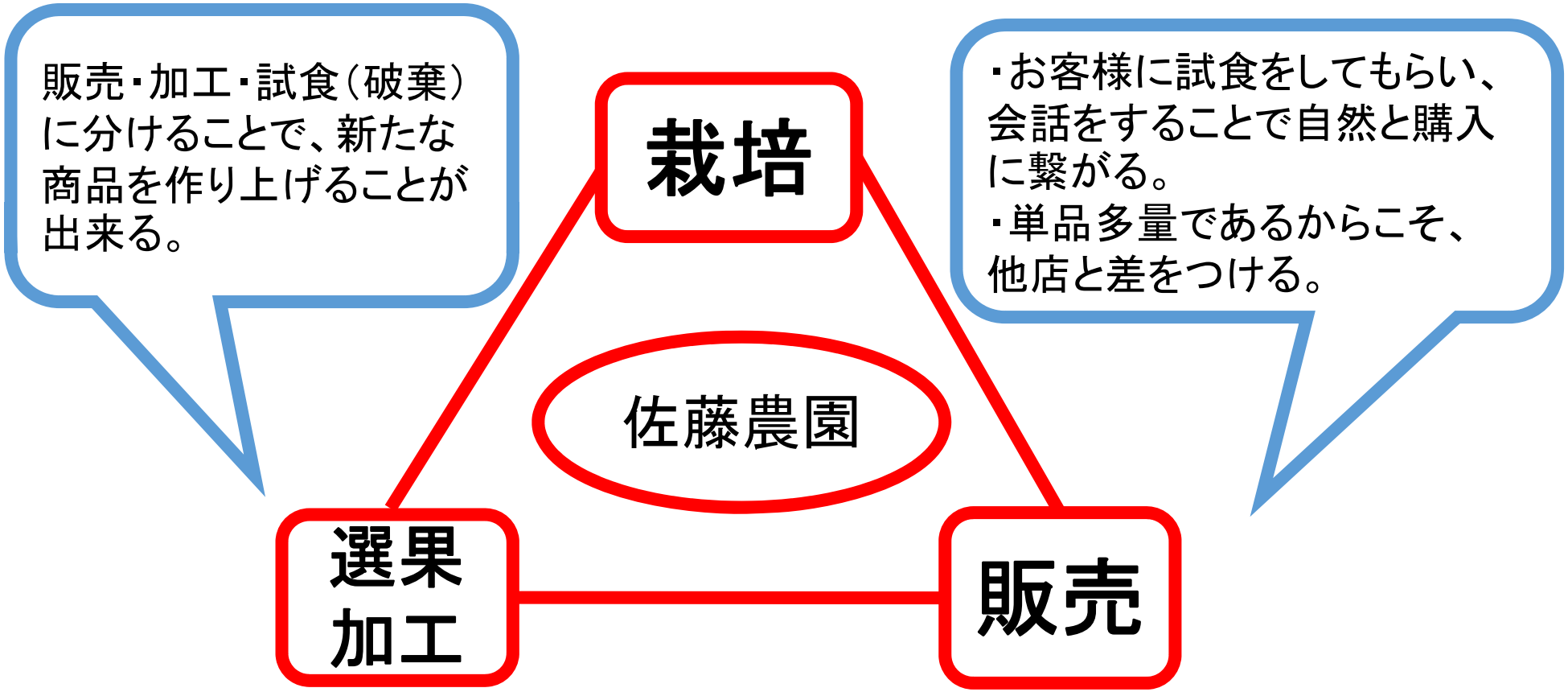
山梨のごく少数の農家でしか育てていないブランド桃

特徴

とても柔らかく甘さと食味が極上

香りも独特的でとてもフルーティー

佐藤農園の6次産業化


販売・加工・試食（破棄）に分けることで、新たな商品を作り上げることが出来る。
栽培
・お客様に試食をしてもらい、会話をすることで自然と購入に繋がる。
・単品多量であるからこそ、他店と差をつける。
佐藤農園
選果
加工
販売

佐藤農園プレミアムジャム

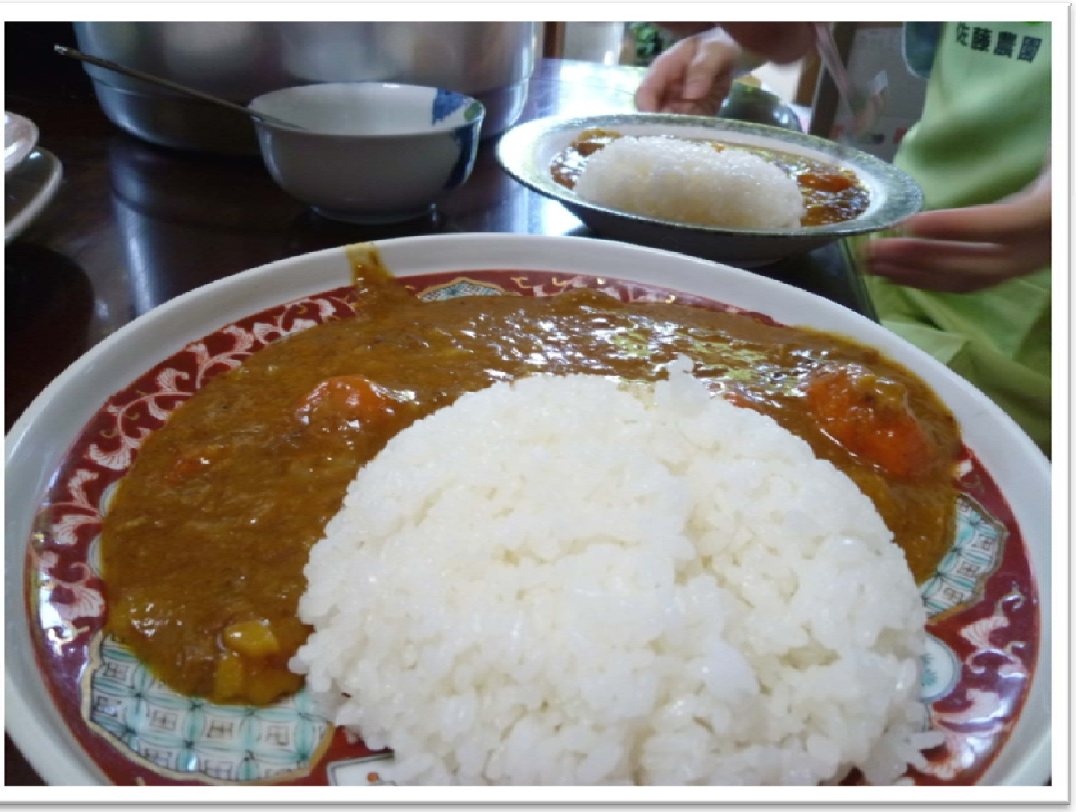
ジャム作り工程表(ベリーA)

①原料の選別 → ②洗浄 → ③前処理 → ④煮詰め

↓ ← びんの洗浄 ふたの煮沸

⑤充填 ← ⑥脱気・殺菌 ← ⑦倒置放冷

ジャム作り



モモカレー

モモのタルト

信玄公祭り

ポール・ラッシュ祭

甲斐の国　マルシェ

有楽町東京交通会館

佐藤農園のビジョン

１．最終ゴール

世界屈指の農業教育センター

２．目的

人材の育成（日本の農業のグローバル化）

栽培技術・生産技術の向上

農業の6次産業化

地域経済の活性化（雇用の確保）

地球温暖化阻止

2013年農作業スケジュール

1月：キウイ出荷、農園整備、モモ剪定、キウイ剪定

2月：キウイ出荷、農園整備、モモ剪定、ブドウ剪定

3月：キウイ出荷、農園整備、植樹

4月：モモ受粉、モモ摘蕾

5月：モモ摘果、ブドウ芽欠き

6月：モモふくろかけ、ブドウふさづくり、ブドウかさかけ、キウイ受粉

7月：モモ収穫

8月：モモ収穫、キウイ間引き

9月：ブドウ収穫、キウイ間引き

10月：農園整備

11月：キウイ収穫、肥料まき

12月：キウイ出荷、農園整備、植樹、キウイ剪定

農業教育

モモの収穫

ブドウの手入れ

中学生の農業体験

台湾人の農業体験

フィリピン人の農業体験

大学生・院生インターンシップ

2013年大学生･院生インターンシップ実績

北海道大学 理学部１名・水産学部１名・農学部１名、酪農学園大学 酪農学部１名、
金沢大学 人間社会学域１名、金沢工業大学 バイオ・科学部１名、群馬大学 工学部３名、
東京大学 経済学部１名、早稲田大学 文化構想学部１名、東京農業大学 国際食料情報学部２名・農学部１名、
立正大学 地球環境学部５名・文学部２名・社会福祉学部１名、二松學舍大学 国際政治経済学部２名・文学部４名、
中央大学 法学部３名・経済学部２名・理工学部１名・文学部１名・商学部１名、玉川大学 農学部６名、
東京家政大学 家政学部４名、大正大学 文学部３名、明星大学 理工学部２名、津田塾大学 学芸学部１名、
慶應義塾大学 法学部１名、東京理科大学 理学２部１名、立教大学 コミュニティ福祉学部１名、
東京工科大学 メディア学部１名、東洋大学 人文学部１名、 東京工芸大学 工学部１名、工学院大学 工学部１名、
昭和女子大学 人間文化学部１名、東京家政学院大学 現代生活学部１名、東京都立大学 知識工学部１名、
恵泉女学園大学 人間社会学部１名、千葉大学 園芸学部１名、昭和学院短期大学 人間生活学科３名、
神奈川大学 経済学部２名・人間科学部１名・理学部１名、神奈川工科大学 応用バイオ科学部１名、
鎌倉女子大学 家政学部１名、都留文科大学 文学部２名、静岡県立大学 経営情報学部１名・国際関係学部１名、
静岡理工大学 理工学部４名、名城大学 農学部３名、日本福祉大学 社会福祉学部２名、
名古屋文理大学 健康生活学部１名、岐阜女子大学 家政学部１名、滋賀県立大学 人間文化学部２名、
関西大学 経済学部１名、大阪大谷大学 文学部１名・人間社会学部１名、同志社女子大学 学芸学部１名、
広島大学 経済学部１名、鳥取大学 農学部４名、島根大学 生物資源学部１名
合計１００名（男性４５名、女性５５名）

未来像

Step.4 日本の農業が成長産業へと復活！

Step.3 現場から生まれたビジネスモデルが全国に波及

Step.2 第2の佐藤農園が全国で生まれる / 佐藤農園のフランチャイズ化

Step.1 佐藤農園が成功モデルを構築！

まとめ

“佐藤農園の6次産業化”で日本の農業が変わる

農業ビジネスに勝機あり

ご清聴ありがとうございました。